

第 8 期中央教育審議会における主な答申、報告等について

(1) 答申

① 「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」答申 (平成 27 年 12 月 21 日)

概要：これからの教育を担う教員に求められる指導力を、教員の専門性の中に明確に位置付け、全ての教員がその指導力を身に付けることができるようにするため、教員の養成・採用・研修を通じた一体的制度改革として、教員育成協議会、教員育成指標、教員研修計画等といった連携・協働の基盤的整備により高度専門職業人として学び合い、高め合う教員を育成・支援するキャリアシステムの構築等について提言。また、研修、採用、養成、免許制度等に関するそれぞれの課題に対して提言。

② 「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」答申 (平成 27 年 12 月 21 日)

概要：複雑化・多様化する学校の課題に対応するとともに、子供たちに必要な資質・能力を育むため、学校のマネジメント機能を強化し、組織として教育活動に取り組む体制を作り上げるとともに、学校において教員が心理や福祉等の専門家等と連携・分担する体制を整備すること、すなわち「チーム学校」の実現について提言。

③ 「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」答申 (平成 27 年 12 月 21 日)

概要：これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の在り方として、①地域とともにある学校への転換、②子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築、③学校を核とした地域づくりの推進、の三つの方向性で推進。この方向性に従って制度面・運営面の改善とあわせ、財政的支援を含めた総合的な推進方策により、コミュニティ・スクールを推進すること、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進することなどを提言。

④ 「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について」答申 (平成 28 年 5 月 30 日)

概要：答申の第一部では、実践的な職業教育に最適化した高等教育機関を、大
学体系として位置づけ、新たに創設することを提言。新機関は、技能と
学問の双方の教育を行うことを明確にしつつ、技能の教育に強みを持っ
た機関とする方向性を示す。また第二部では、一人一人の生涯を通じた
学習の成果の適切な評価・活用のための環境整備について提言。具体的
には検定試験について、評価の仕組みの確立や情報公開の促進による質
の保証・社会的活用の促進、また、学習成果を活用し新たな学習機会や
様々な活動に結びつけるため、ICTを活用した生涯学習に関する基盤
の構想を提示。

⑤「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について」答申

(平成28年12月21日)

概要：今後、子供たちが、複雑で予測困難な時代を前向きに受け止め、社会や人生をより豊かなものにすることができるようになることを目指して、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」を理念とし、この理念の実現のため、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を一体として検討し、以下のような改善の視点を提言。

- (1) 学習指導要領等の枠組みの見直し
- (2) 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）

⑥「第2次学校安全の推進に関する計画の策定について」答申

(平成29年2月3日)

概要：平成29年度からの5年間を対象とする第2次学校安全の推進に関する計画の策定にあたり、児童生徒等の安全を取り巻く現状と課題を踏まえ、今後の学校安全の推進の方向性として、目指すべき姿を提示。これを実現するための学校における組織的取組、安全教育、安全管理、家庭、地域、関係機関等との連携・協働に関する施策目標を提示するとともに、具体的な方策について提言。

(2) 報告等

● 大学分科会

「未来を牽引する大学院教育改革～社会と協働した「知のプロフェッショナル」の育成～」(審議まとめ)

(大学分科会 平成27年9月15日)

概要：高度な専門的知識と倫理観を基礎に新たな知の創造と活用を主導する「知のプロフェッショナル」を育成するため、重視すべき大学院教育改革の基本的方向性と「卓越大学院（仮称）」の形成を提言した。

「認証評価制度の充実に向けて」(審議まとめ)

(大学分科会 平成28年3月18日)

概要：認証評価制度の改善方策として、認証評価機関において共通して評価すべきものとして三つの方針(※)に関することを位置づけること、評価を行うに当たって内部質保証に関する評価を重視したものとすべきであること等を提言した。

- (※) 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

**「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン」
(大学分科会大学教育部会 平成28年3月31日)**

概要：今後、各大学が建学の精神や強み・特色等を踏まえた自主的・自律的な三つの方針を策定・運用する際の指針となるよう、これまでの中央教育審議会答申等の提言も踏まえつつ、各大学が留意すべき事項を整理した。

「専門職大学院を中核とした高度専門職業人養成機能の充実・強化方策について」

(大学分科会大学院部会専門職大学院WG 平成28年8月10日)

概要：専門職大学院制度が創設されて10年余り経過したことから、制度全般の検証、見直しを行い、高度専門職業人養成機能の充実・強化、社会(「出口」)との連携強化及び多様なニーズへ対応するための学士課程・修士課程等との連携強化を図るための具体的改善方策を取りまとめた。

「統一適性試験の在り方について」(提言)

(大学分科会法科大学院特別委員会 平成28年9月26日)

概要：入学者選抜を取り巻く状況の変化等を踏まえ、多様性確保の観点から統一適性試験の在り方の見直しを行い、平成31年度入試から統一適性試験の利用を各法科大学院の任意とし、法学未修者選抜については文部科学省がガイドラインを作成するとの提言を取りまとめた。

第8期中央教育審議会総会 審議経過

総会開催日及び主な議題一覧

期	回	開催日	主な議題
8	98	2. 25	会長の選任等について 中央教育審議会運営規則等の制定について 意見交換等 今後の審議予定等について
	99	4. 14	個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について（諮問） 新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について（諮問）
	100	8. 6	これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について チームとしての学校・教職員の在り方について 大学院教育の在り方について
	101	9. 28	中央教育審議会運営規則の一部改正について 初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について 未来を牽引する大学院教育改革について 高大接続システム改革会議「中間まとめ」について 平成28年度文部科学省概算要求及び税制改正要望事項について
	102	10. 28	これからの学校教育を担う教職員やチームとしての学校の在り方について（答申案の審議） 新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について（審議まとめの審議）
	103	11. 26	これからの学校教育を担う教職員やチームとしての学校の在り方について（答申案の審議） 新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について（答申案の審議）
	104	12. 21	これからの学校教育を担う教職員やチームとしての学校の在り方について（「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」答申案について） これからの学校教育を担う教職員やチームとしての学校の在り方について（「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」答申案について） 新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について（答申案について）

8	105	H28. 2. 10	<p>個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について</p> <p>①社会・経済の変化に伴う人材需要に即応した質の高い専門職業人養成のための新たな高等教育機関の創設について(審議経過報告<骨子素案>)</p> <p>②生涯学習による可能性の拡大、自己実現及び社会貢献・地域課題解決に向けた環境整備について(審議経過報告<骨子素案>)</p> <p>「次世代の学校・地域」創生プランについて</p> <p>平成27年度文部科学省補正予算、平成28年度文部科学関係予算案及び税制改正等について</p>
	106	4. 18	<p>第3期教育振興基本計画の策定について(諮問)</p> <p>第2次学校安全の推進に関する計画の策定について(諮問)</p> <p>個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について</p> <p>①社会・経済の変化に伴う人材需要に即応した質の高い専門職業人養成のための新たな高等教育機関の制度化について(審議経過報告)</p> <p>②生涯学習による可能性の拡大、自己実現及び社会貢献・地域課題解決に向けた環境整備について(審議経過報告)</p> <p>高大接続システム改革会議「最終報告」について</p>
	107	5. 30	<p>個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について(答申)(案)について</p> <p>第3期教育振興基本計画の策定について</p>
	108	9. 21	<p>初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について</p> <p>第3期教育振興基本計画の策定について</p> <p>平成28年度文部科学省第2次補正予算(案)・平成29年度文部科学省概算要求及び税制改正要望事項について</p>
	109	12. 21	<p>「国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2015)」 「OECD生徒の学習到達度調査(PISA2015)」の結果について</p> <p>幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申(案))</p> <p>第2次学校安全の推進に関する計画の策定について(答申(素案))</p>
	110	H29. 2. 3	<p>第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方について</p> <p>第2次学校安全の推進に関する計画の策定について(答申(案))</p> <p>第8期中央教育審議会の総括について</p> <p>平成29年度文部科学関係予算案及び税制改正等について</p>